

実験A2. オペアンプによるアナログ回路設計 レポート作成時の注意事項と提出方法

高井研究室 助教 池本 隼也
TA 横川 雄祐 (M2)

様式説明1

以下は必ず含めること。(こまかに章立てや記載順はお任せします)

1. 表紙

実験番号, 実験題目, 班番号, 共同実験者氏名, 報告者, 報告者学籍番号, 報告者氏名
学科名, 電子メールアドレスを記入した表紙を添付.

2. 実験の目的

今回の実験の目的を自分の言葉で書く. 手順書の完全コピペは厳禁.

3. オペアンプの原理

オペアンプの原理を自分の言葉で書く. 手順書の完全コピペは厳禁.

手順書2節を参考に, 気になった点などを文献等で調べながら, オペアンプの原理についてまとめる.

様式説明2

4. 実験1~5の説明(回路図と各素子のパラメータは必ず明記)

- 4.1 実験1について
- 4.2 実験2について
- 4.3 実験3について
- 4.4 実験4について
- 4.5 実験5について

5. 実験1~5の結果(表とグラフの両方を作成し文章で説明)

- 5.1 実験1について
- 5.2 実験2について
- 5.3 実験3について
- 5.4 実験4について
- 5.5 実験5について

注意:今回の実験結果の表とグラフを文章中で触れること. 単位は正確に表記する.

表中の値の有効数字は, 適切に設定すること.

表はキャプションを上に“表xx”とカウント, グラフはキャプションを下に “図yy”とカウントすること.

様式説明2

6. 考察

- 6.1 実験1の考察
- 6.2 実験2の考察
- 6.3 実験3の考察
- 6.4 実験4の考察
- 6.5 実験5の考察

注意2:理想的な場合(理論式)との比較, ゲイン特性や位相特性などを考察する.
一目でわかるグラフの特徴を記述するだけでは減点.

7. 課題への解答

必須課題4題の解答をおこなう. 選択課題や発展課題は必須ではないが,
解答している場合加点対象とする.

様式説明3

8. 結論

全体的な実験の総括をおこなう。
(最後に, 助言者や共同実験者に感謝を述べましょう!)

9. 参考文献

追加の文献調査をした場合, ここにまとめる.

その他注意事項

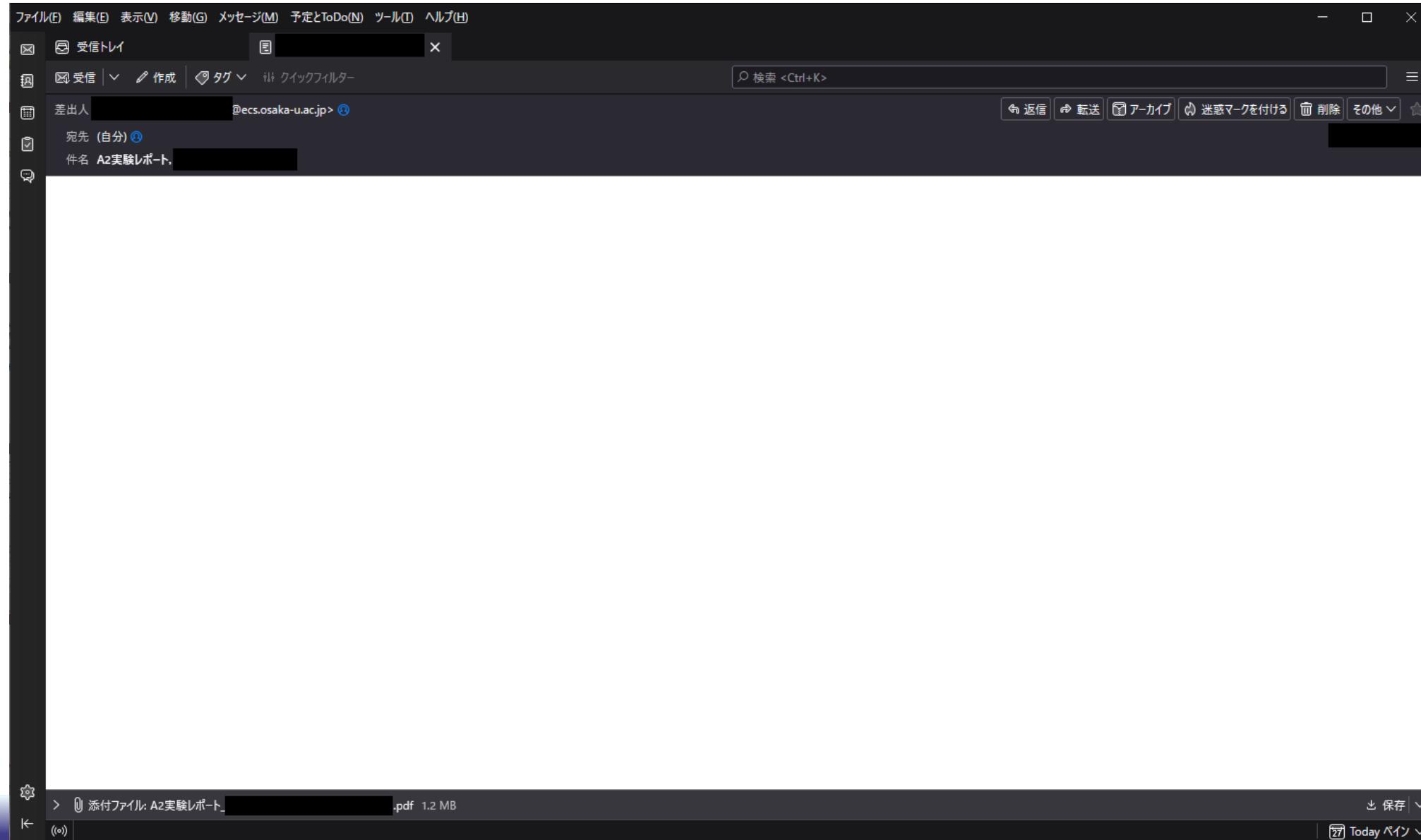
- キャプションを正しくつけましょう。
 - 表のキャプションは表の上、図のキャプションは図の下という暗黙のルールがあります。
- 単位は必ず、かつ間違えずに記入しましょう。
 - 単位(A, V, Hzなど)とその接頭語(m, k, M)は大小含めて意味を持ちます。
- あいまいな表現は避けましょう。
 - 「正常」、「異常」…理論通りでなければ異常ですか？
 - 「ある程度」…具体的には？例えば誤差〇%以内など定量的に
 - 論理的根拠もなくそれらしいことを書いてはいけません。

そのほか、「学生実験に関する注意2025.pdf」の [2.2] に書かれたルールを守りましょう。

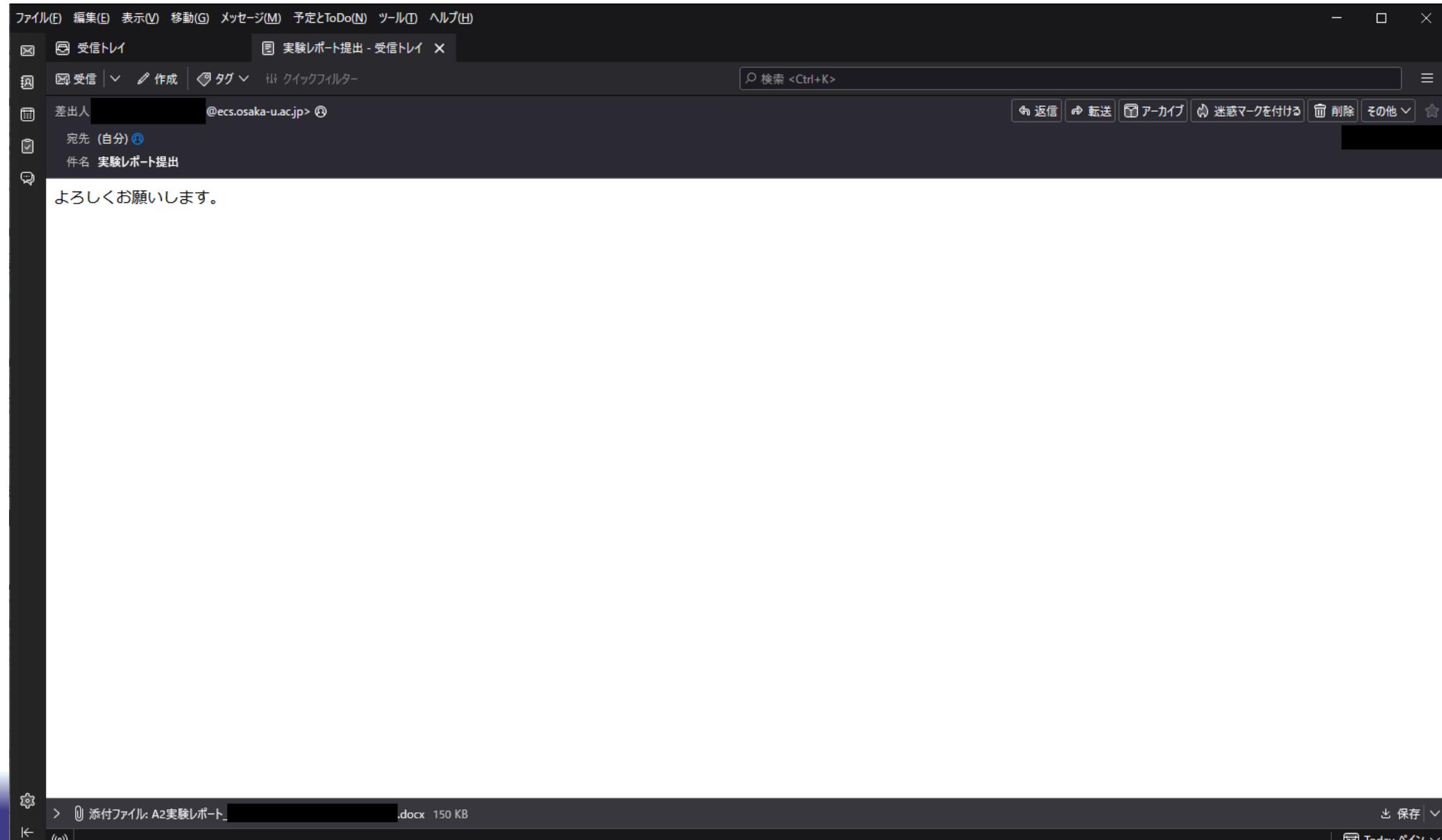
実験レポートの提出について

- 2日目の実験実施日の**翌週水曜日18時まで**池本までメールで提出お願いします。
 - 池本メールアドレス: ikemoto@eei.eng.osaka-u.ac.jp
 - ファイル名: A2実験レポート_[学籍番号]_[氏名]_[名前]_[実験2日目実施日]
 - 例)A2実験レポート_08D20000_阪大太郎_20220414
 - PDFでの提出お願いします。
- レポートを受領した場合、提出いただいたアドレスに返信します。
 - もし連絡がなければ、もう一度問い合わせをお願いします。
- レポートの再提出はありません。一発勝負でお願いします。
 - 後日内容に関して気になった点があればコメントする予定です。
 - 点数は非公開です。

迷惑メールとみなされる例1



迷惑メールとみなされる例2



参考：メールの送り方を学んでおきましょう

【送付例】

件名：A2実験レポートの送付_☆☆

件名を具体的に書く。

本文：

大阪大学大学院工学研究科
○○○○○専攻
△△ △△先生

宛名

お世話になっております。
「□□実験」を受講しております☆☆と申します。

挨拶、名乗り

実験レポートを作成しましたので、送付いたします。

要旨(必要であればこの後詳細を書く)

以上よろしくお願ひいたします。

結びのあいさつ

☆☆ ☆☆
大阪大学工学部××学科
%%コース
Email: ~~~~~@~~~~~

署名